エコアクション21
認証番号0008446

環境経営レポート2024

対象期間＜２０２３年１０月～２０２４年９月＞

2024年12月21日作成

常盤工業株式会社

目　次

１．環境経営方針…… 2

２．組織の概要 …… 3

３．対象範囲・実施体制…… 4、5

４．環境経営目標・計画・実績…… 6、7、8

５．環境負荷実績値 …… 9、10

６．環境経営の取組結果と評価及び次年度の取組内容 11、12

７．エコアクション活動の取り組み事例…… 13～17

８．環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無…… 18

９．代表者による全体評価と見直しの結果…… 19

常盤工業株式会社　環境経営方針

[基本理念]

私達は、子供たちの未来のために地球環境の保全を心掛け、地球人口１００億人時代が到来しても全地球人が幸せに暮らしていけるような「資源循環型社会」の構築に貢献します。

[行動指針]

1 地球環境保護のため、お客様に省エネ住宅、省エネ施設、省エネ改修などの提案を積極的に行い、併せて環境に配慮した工事方法を工夫していきます。

2 省エネを推進し、二酸化炭素排出量削減に努めます。

3 水利用量および排水量の削減に努めます。

4 リサイクル活動を推進し、廃棄物排出量削減に努めます。

5 事務用品や原材料のグリーン購入を促進します。

6 全社員に環境教育を行い、環境保全の意識を高めます。

7 組織に適用される環境に関する法規等を遵守します。

8 環境経営レポートを社内外に公表し、コミュニケーション活動を積極的に行います。

9 環境経営を事業発展のチャンスと捉え、継続的改善を誓約します。

制定日　　平成25年11月1日
改定日　　令和元年09月1日

常盤工業株式会社
代表取締役　市川 浩透

２．組織の概要

１．事業者名及び代表者名

常盤工業株式会社　　代表取締役　市川　浩透

２．所在地

本社：　静岡県浜松市中央区新津町197番地

３．管理責任者及び担当者連絡先

責任者：取締役管理本部長　　矢野　吉陸

TEL：053-461-9156　FAX：053-461-7956　E-Mail：y-yano@tokiwak.co.jp

担当者：　総務本部　アソシエイト　　新貝　えり子

E-Mail：eriko-s@tokiwak.co.jp

４．事業内容

総合建設業　（建築一式、土木一式、大工、左官、とび・土工、石、屋根、タイル・れんが・ブロック、鋼構造物、鉄筋、ほ装、しゅんせつ、板金、ガラス、塗装、防水、内装仕上、熱絶縁、建具、水道施設、解体、造園）、建物再生事業、不動産事業、損害保険代理店事業

建設業許可：　静岡県知事（特-４）第3970号

一級建築士事務所：　静岡県知事登録（15）第546号

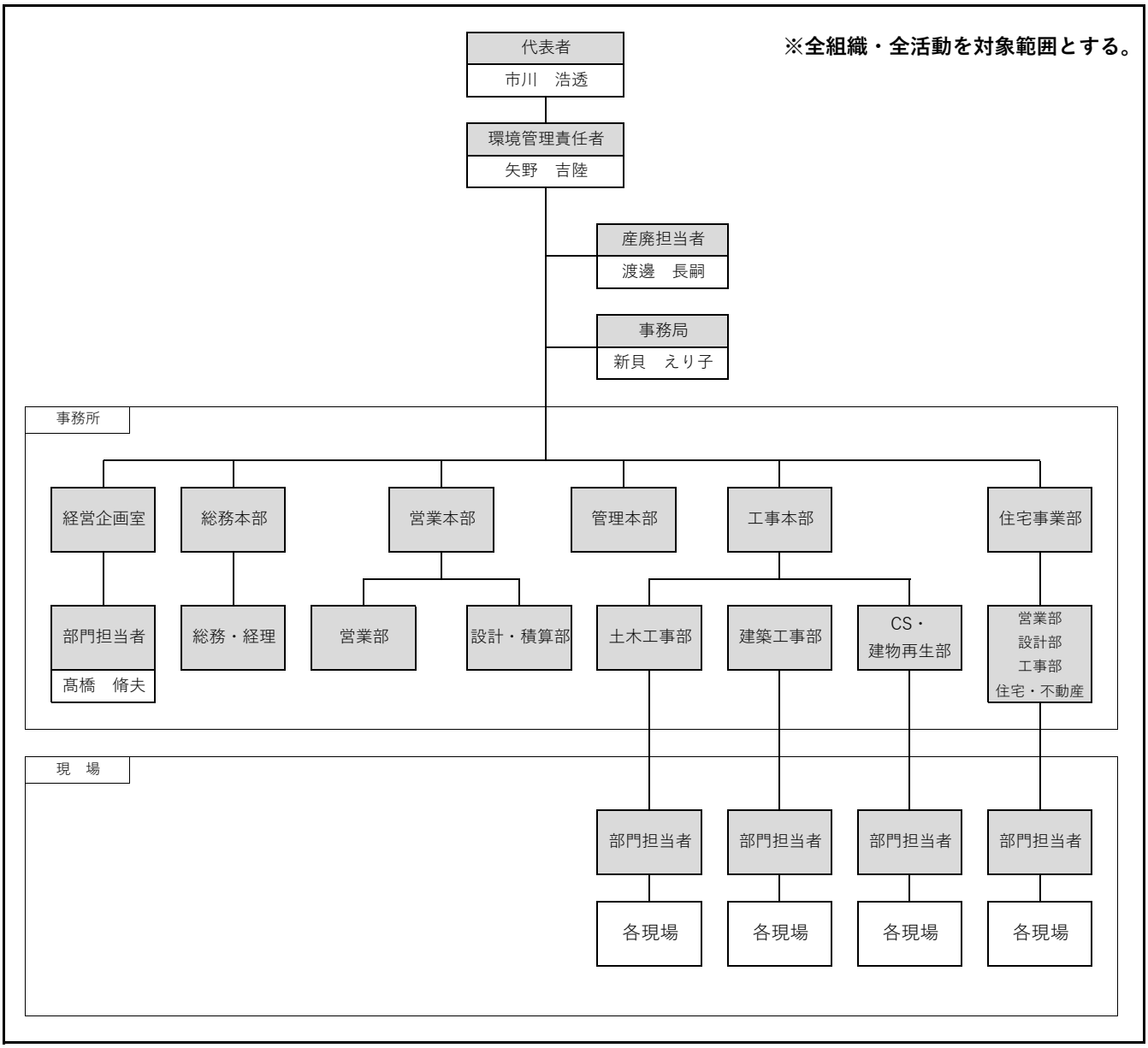
宅地建物取引業免許：　静岡県知事（8）第10287号

５．事業の規模

活動規模	単位	72期 （R3.10～R04.9）	73期 （R4.10～R05.9）	74期 （R5.10～R06.9）
売上高	百万円	4,817	4,878	5,666
従業員	人	98	98	98
事務所床面積	m^2	1771.04	1771.04	1771.04
倉庫床面積	m^2	1065.88	1065.88	1065.88

3．対象範囲・実施体制

エコアクション組織図



担当者	役割・責任・権限
代表者： 代表取締役 市川　浩透	・エコアクション２１に関する代表責任者 ・エコアクション２１実施における人材、設備、費用を用意する ・環境管理責任者の任命を行う ・環境経営方針の制定、改定及び全社員への周知 ・代表者による全体の評価と見直しを実施する ・環境マネジメントシステムの承認
環境管理責任者： 取締役　矢野　吉陸	・環境マネジメントシステム全体の構築、運用、維持に関する実務上の権限を有する ・代表者への報告 ・環境マネジメントシステムの構築、実施及び運用管理 ・環境事務局の文書作成案に対するチェック及び改訂の指示 ・環境経営への評価及び次年度の取り組み事項の決定 ・環境関連法規等の取りまとめ及び遵守状況のチェック ・環境経営レポートの確認
産廃担当者　： 渡邊　長嗣	・廃棄物（一般・産業廃棄物）の分別管理 ・廃棄物の排出量の管理（実績集計） ・産廃に関する環境関連法規等の取りまとめ及び遵守状況のチェック
事務局　： 総務本部　新貝　えり子	・エコアクション２１における文書の作成 ・環境経営目標及び環境経営計画案の作成 ・環境負荷の自己チェック、取組の自己チェックの実施 ・環境経営レポートの作成 ・エコアクション（美観）パトロールの実施及び展開 ・環境活動の実績集計及び目標進捗状況の確認
経営企画室　： 髙橋　脩夫	・エコアクションポスターの作成と掲示 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・CSR活動の計画と連絡調整 ・CSR活動における目標設定及び実績報告書の作成
部門担当者　： 建築工事部　匂坂　友則 CS・建物再生部　稲石　浩介 土木工事部　柳　彰男 住宅事業部　栗田　知秀	・各部門における環境マネジメントの実施 ・環境目標及び環境活動計画案の作成 ・各記録の実施 ・問題点のチェック及び予防処置の実施 ・緊急事態のマニュアル作成及び試行訓練の実施
現場所長	・各現場で使用した資源の使用量を実績報告（毎月）
全社員	・環境経営方針の確認・理解 ・各個人における環境マネジメントシステムの実施 ・環境負荷に対する積極的活動

４－１　74期　環境経営目標

取　組　項　目			対象	単位	進捗確認頻度	3期平均 基準値	74期 目標	75期 目標	76期 目標	77期 目標	78期 目標
1	二酸化炭素総排出量の削減	総排出量	全体	kg-CO2	毎月	289,244	287,797	286,358	284,927	283,502	282,085
		ガソリン	事務所	kg-CO2/人	毎月	1691	1683	1674	1666	1658	1649
		電力・化石燃料	現場	kg-CO2/百万円	毎月	22.35	22.25	22.14	22.03	21.92	21.81
2	コピー用紙購入数量の削減		全体	t	１年	1.83	1.82	1.81	1.80	1.80	1.79
3	産業廃棄物 再資源化率の向上		現場	%	１年	95.8	96.3	96.8	97.3	97.8	98.2
4	水使用量		事務所	㎥/人	２ヶ月	7.09	7.05	7.02	6.99	6.96	6.93
5	社会貢献活動	清掃活動	全体	回数/年	２ヶ月	10	10	10	10	10	10
		ボランティア活動	全体	件数/年	２ヶ月	10	10	10	10	10	10
6	環境に配慮した工事の件数	建築	現場	回数/年	２ヶ月	4	5	+1	+2	+3	+4
		土木			２ヶ月	目標変更	5	+1	+2	+3	+4
		住宅			２ヶ月	目標変更	6	+1	+2	+3	+4

※１ 事務所の二酸化炭素総排出量及び水使用量は、従業員１人あたりの目標値とし、目標設定基準は、直近の過去３ヵ年（71期・72期・73期）の平均値を基準値とする。（74期から78期までは、基準値より0.5%ずつ削減または向上とする。）

なお、現場の電力・化石燃料については、７１期の実績値を基準値としております。

※２ 事務所の電力については2022年10月より、CO2フリー電気「静岡Greenでんき」を使うようになりましたので二酸化炭素排出量のカウントはしていません。

※3　現場購入電力のco2排出量については2017年以降、中部電力の調整後排出係数 0.472kg-co2/kwh を使用しております。

※4　環境に配慮した工事の件数の内、住宅の目標は前期までは太陽光パネルの設置提案であったが今期からは設置現場の件数としました。

4 － 2　環境経営計画

目的	区分	項目	責任者	担当	取 組 内 容	活動時期
二酸化炭素の削減	購入電力	照明	矢野	全社員	①消灯の徹底	都度
					②クールビス、ウォームビスの推奨	
					③PC長期離席時、電源OFFの徹底	
	ガソリン	車両	社長	全社員	①アイドリングストップの励行	毎日
					②エコドライブの徹底（急発進・急加速・急停車等の禁止）	
					③車両の定期点検（タイヤ空気圧・不要積載物の確認）	
	購入電力 化石燃料	照明 重機	部門担当者	現場監督	①重機のアイドリングストップの励行	毎日
					②現場事務所内の消灯の徹底	
廃棄物の削減	コピー用紙の使用量削減		矢野	全社員	①コピー用紙の両面使用・裏紙使用	毎日
					②ペーパーレス化の推進(紙媒体からデータ化)	
	産業廃棄物の再資源化率の向上		渡邊	現場監督	①廃棄物の分別化 2仮設資材、用具のリユース化	毎日
節水	上水		矢野	全社員	①節水表示	毎日
					②井水利用	
環境配慮	工事現場		部門担当者	現場監督	建築:産廃の分別徹底,コンテナ多数設置(混合,石膏ボード,鉄くず,段ボール) 土木:ICT活用施工、環境配慮機器の利用 住宅:太陽光パネルの設置	随時
地域貢献	ボランティア・清掃等		髙橋	全社員	①本社及び現場の近隣道路清掃	毎月１回
					②お宮の清掃	年１回
					③ボランティア活動の推進	都度

４－３　環境実績

取組項目			対象	単位	進捗	71期	72期	73期	3期平均	７４期		達成率	評価
						実績	実績	実績	基準値	目標	実績	（%	
1	二酸化炭素総排出量の削減	総排出量	全体	kg-CO2	毎月	294,766	342,718	230,247	289,244	287,797	222,490	129	◎
		ガソリン	事務所	kg-CO2/人	毎月	1782	1932	1360	1691	1683	1369	123	◎
		電力・化石燃料	現場	kg-CO2/百万円	毎月	23.22	24.12	19.72	22.35	22.25	12.90	172	◎
2	コピー用紙購入数量の削減		事務所	t	１年	2.01	1.81	1.66	1.83	1.82	1.77	103	○
3	産業廃棄物再資源化率の向上		現場	%	１年	95.9	95.3	96.2	95.8	96.3	97.5	101	○
4	水使用量		事務所	㎥/人	２ヶ月	8.37	8.63	4.27	7.09	7.05	3.96	178	◎
5	社会貢献活動	清掃活動	全体	回数/年	２ヶ月	10	10	10	10	10	10	100	○
		ボランティア活動	全体	件数/年	２ヶ月	10	9	10	10	10	8	80	×
6	環境に配慮した工事の（提案）件数	建築	現場	件数/年	２ヶ月	1	5	6	4	5	6	120	◎
		土木		件数/年	２ヶ月	3	3	4	目標変更	5	5	100	○
		住宅		件数/年	２ヶ月	4	6	25	目標変更	6	16	267	◎

※１　過去３ヶ年（71期・72期・73期）の平均値を基準値とする。

※２　評価：◎（達成率110％超）○(達成率100％以上～110％未満）△（達成率90％以上～100％未満）×（達成率90％未満）

５－１　環境負荷の実績値（絶対値）

【事務所】

項目		単位	実績値						
			68期	69期	70期	71期	72期	73期	74期
1	二酸化炭素総排出量	kg-CO2	212,692	213,594	209,386	207,133	226,108	133,279	149,229.0
2	電力使用量	kW h	60,278	57,765	57,894	53,284	67,805	60,188	61,802.0
	ガソリン使用量	リットル	72,400	73,756	70,777	71,418	81,629	57,448	64,323.0
	都市ガス使用量	㎥	7,171	7,044	8,083	7,543	2,188	0	0.0
	灯油使用量	リットル	260	100	160	0	0	0	0.0
3	一般廃棄物排出量	トン	11.1	11.2	10.0	10.4	10.9	10.2	8.4
4	水使用量	㎥	793	714	762	778	846	418	432.0

【建設現場】

項目		単位	実績値						
			68期	69期	70期	71期	72期	73期	74期
1	二酸化炭素総排出量	kg-CO2	25,790	18,238	22,508	87,633	116,610	96,968	73,261.0
2	電力使用量	kW h	37,566	22,580	36,536	71,581	96,905	90,708	107,323.0
	ガソリン使用量	リットル	707	529	177	3,952	3,307	2,780	2,229.0
	軽油使用量	リットル	1,130	1,060	1,782	17,144	24,331	18,188	6,699.0
	灯油使用量	リットル	0	60	54	180	170	313	60.0
	ＬＰＧ使用量	kg	24	56	40	0	0	0	0.0
3	産業廃棄物排出量	トン	5,368	4,502	5,437	4,835	7,576	9,062	9,874.0
4	水使用量	㎥	606	264	510	852	740	1,029	1,326.0

７０期までの二酸化炭素排出量及び化石燃料使用量は、完工高５千万円／件の工事を抽出し集計していた。
７１期（以降）については、全工事を対象に集計する方法に変更している。

5－2　環境負荷の実績値（グラフ）

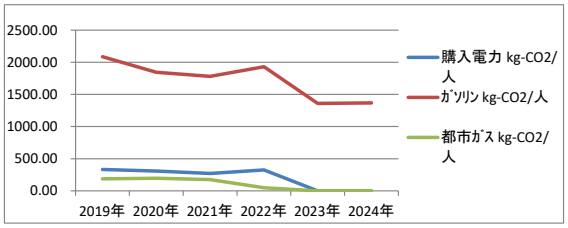
環境負荷実績グラフ

年度別		2019年（69期）	2020年（70期）	2021年（71期）	2022年（72期）	2023年（73期）	2024年（74期）
売上高	百万円	3,629	4,452	3,755	4,817	4,878	5,666
従業員数	人	82	89	93	98	98	98

【事務所】

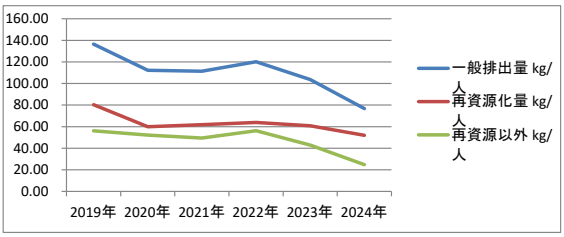
CO2排出量		2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
購入電力	kg-CO2/人	332.50	307.02	270.43	326.57	0.00	0.00
ｶﾞｿﾘﾝ	kg-CO2/人	2086.76	1844.97	1781.61	1932.44	1359.99	1369.07
都市ｶﾞｽ	kg-CO2/人	185.55	196.17	175.19	48.22	0.00	0.00
購入電力	kg-CO2	27,265	27,325	25,150	32,004	0	0
ｶﾞｿﾘﾝ	kg-CO2	171,114	164,202	165,690	189,379	133,279	149,229
都市ｶﾞｽ	kg-CO2	15,215	17,459	16,293	4,726	0	0

1)CO2排出量/人



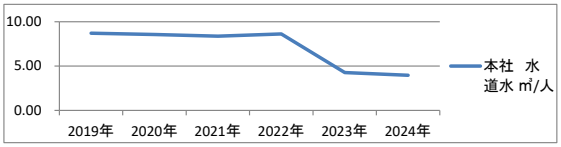
一般廃棄物		2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
一般排出量	kg/人	136.48	112.17	111.34	120.10	103.68	76.75
再資源化量	kg/人	80.35	60.00	61.88	63.88	60.83	51.98
再資源以外	kg/人	56.12	52.17	49.46	56.22	42.86	24.77
一般排出量	kg	11,191	9,983	10,355	11,770	10,161	8,366
再資源化量	kg	6,589	5,340	5,755	6,260	5,961	5,666
再資源以外	kg	4,602	4,643	4,600	5,510	4,200	2,700

2)一般廃棄物排出量/人



排水量		2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
本社　水道水	㎥/人	8.71	8.56	8.37	8.63	4.27	3.96
水道水	㎥	714	762	778	846	418	432

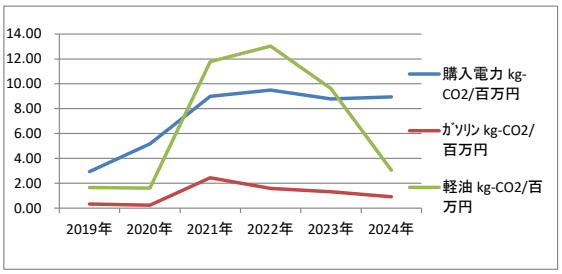
3)排水量/人



【建設現場】

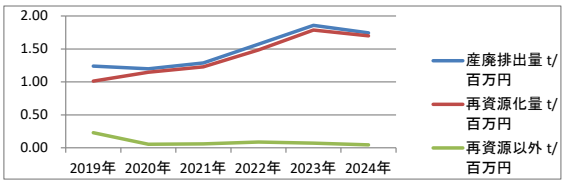
CO2排出量		2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
購入電力	kg-CO2/百万円	2.94	5.17	9.00	9.50	8.78	8.94
ｶﾞｿﾘﾝ	kg-CO2/百万円	0.34	0.24	2.44	1.59	1.32	0.91
軽油	kg-CO2/百万円	1.66	1.61	11.78	13.03	9.62	3.05
		4.94	7.02	23.22	24.12	19.72	12.90
購入電力	kg-CO2	10,657	23,020	33,786	45,739	42,814	50,656
ｶﾞｿﾘﾝ	kg-CO2	1,228	1,053	9,168	7,672	6,449	5,172
軽油	kg-CO2	6,035	7,162	44,230	62,775	46,926	17,283

4)CO2排出量/百万円



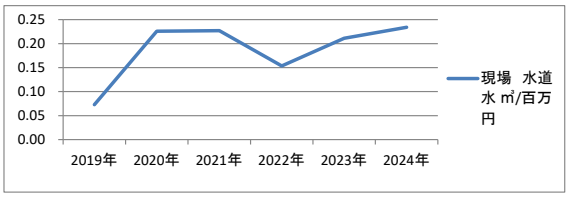
産業廃棄物		2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
産廃排出量	t/百万円	1.24	1.20	1.29	1.57	1.86	1.74
再資源化量	t/百万円	1.01	1.15	1.23	1.48	1.79	1.70
再資源以外	t/百万円	0.23	0.05	0.06	0.09	0.07	0.04
産廃排出量	t	4,502	5,335	4,835	7,576	9,062	9,874
再資源化量	t	3,671	5,100	4,611	7,153	8,715	9,623
再資源以外	t	831	235	224	423	347	251

5)産業廃棄物/百万円



排水量		2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
現場　水道水	㎥/百万円	0.07	0.23	0.23	0.15	0.21	0.23
水道水	㎥	264	1,006	852	740	1,029	1,326

6)排水量/百万円



6．環境経営の取組結果と評価及び次年度の取組内容

取組項目			対象	評価	評価に対するコメント及び次年度の取組事項
1	二酸化炭素 総排出量の削減	電力	事務所	◎	本社事務所の一次エネルギー（電力）は消費電力を発電量が上回るNetZEBで運用継続中。又、購入している電力はCO2フリーの「静岡Greenでんき」としています。そのため、事務所電力のCO2 排出ゼロ化を実現しています。引き続き建物のNetZEB、電力消費によるCO2 排出ゼロを継続していくためにも、より最適な空調運用、クールビズ、ウォームビズの推奨など従業員の意識向上、ムダな電力使用の削減など取組みを進めて参ります。
		ガソリン		◎	今後もエコドライブを推奨し、従業員のエコドライブ意識を高めていきます。 又、今後自動車買い替え予定のある社員に対し、低燃費車の検討を促す呼びかけを各部会議等で展開しております。
		電力・ 化石燃料	現場	◎	電力料金の上昇(昨年度の約111%）とガソリン(昨年度の約80%）・軽油(昨年度の約37%）の使用量の減少により、金額当たりのCO2排出量は減少しました。電力及び化石燃料の効率的な運用を引き続き行う一方で、一部土木の現場事務所で太陽光発電利用をトライアルしているようにCO2フリーエネルギーの活用も検討していきたいと思います。
2	コピー用紙の使用量削減		事務所	○	会議資料などのペーパーレス化は進んでいますが、各種提出書類などある程度のコピー用紙使用はあります。今後は、社内用途の裏紙使用の推奨やミスプリントの減少などで更なる削減をしていきます。
3	産業廃棄物 再資源化率の向上		現場	○	目標に対する達成率が102%でした。再資源化率97.5%まで高まりましたので、今後も 現場での分別廃棄を進め、再資源化率の低い混合廃棄物を少しでも減らすことにより、地道に向上を目指していきます。
4	水使用量		事務所	◎	新社屋における節水型のトイレ利用、屋上緑化・壁面緑化への散水の井水利用などで事務所での使用量は低く抑えられています。工事での使用量は工事規模や工種による変動がありますが、本社井水を利用できるエリアでは工事用散水車への補水などで上水の使用量削減に努めてます。
5	社会貢献活動	清掃活動	全体	○	毎月1回会社周辺の清掃活動と 9 月に新津町の神明宮の清掃活動を実施致しました。その他「花のリレー・プロジェクト」での草刈り作業や各現場ごとに地域の環境美化活動を行っています。(「花のリレー・プロジェクト」はボランティア活動にカウント)
		ボランティア 活動	全体	×	今期は新津町自治会との災害協定を締結して合同で災害訓練を行うなど地域との交流が増えました。継続している献血活動、校外学習の受入れ、チャリティーイベントへの参加、現場員のキャリア教育への派遣(未来授業）などに加えて、浜松ジュニアビレッジの活動支援なども行いました。
6	環境に配慮した 工事の（提案） 件数	建築	現場	◎	コンテナ多数設置の現場が目標を上回ることで廃棄物の分別が進みました。今後も廃棄物の分別を進めることで、混合廃棄物を少しでも減らす努力をして参ります。
		土木		○	橋台改修工事では杭ナビ、3DCAD、ドローンなどの最新技術を有効活用しました。その他、低騒音重機の活用、再生材の利用など環境に配慮した施工現場を増やしていきます。
		住宅		◎	当社住宅の標準コンセプトが「スマートハウス」となり太陽光パネル設置が当たり前となり、目標を大幅に超える達成率となりました。お客様の支持を頂くことで「スマートハウス」を普及させて件数を増やしていきます。

6.環境に配慮した工事（環境配慮目標）
建築：産廃の分別徹底、コンテナ多数設置（混合、石膏ボード、鉄くず、段ボール）
土木：ICT活用施工、環境配慮機器の利用
住宅：太陽光パネルの設置

6－２　取組内容の評価

目的	区分	項目	責任者	担当	取 組 内 容	期末評価	活動時期
二酸化炭素の削減	購入電力	照明	矢野	全社員	①消灯の徹底	○	都度
					②クールビス、ウォームビスの推奨	○	
					③PC長期離席時、電源OFFの徹底	△	
	ガソリン	車両	社長	全社員	①アイドリングストップの励行	○	毎日
					②エコドライブの徹底（急発進・急加速・急停車等の禁	○	
					③車両の定期点検（タイヤ空気圧・不要積載物の確認）	△	
	購入電力 化石燃料	照明 重機	部門担当者	現場監督	①重機のアイドリングストップの励行	△	毎日
					②現場事務所内の消灯の徹底	△	
廃棄物の削減	コピー用紙の使用量削減		矢野	全社員	①コピー用紙の両面使用・裏紙使用	◎	毎日
					②ペーパーレス化の推進(紙媒体からデータ化)	○	
	産業廃棄物の再資源化率の向上		渡邊	現場監督	①廃棄物の分別化	◎	毎日
					2仮設資材、用具のリユース化	○	
節水	上水		矢野	全社員	①節水表示	◎	毎日
					②井水利用	○	
環境配慮	工事現場		部門担当者	現場監督	建築:産廃の分別徹底,コンテナ多数設置(混合,石膏ボード,鉄くず,段ボール) 土木:ICT活用施工、環境配慮機器の利用 住宅:太陽光パネルの設置	◎	随時
地域貢献	ボランティア・清掃等		髙橋	全社員	①本社及び現場の近隣道路清掃	○	毎月１回
					②お宮の清掃	○	年１回
					③ボランティア活動の推進	×	都度

7. エコアクション活動の取組み事例

新津町自治会との災害協定を締結

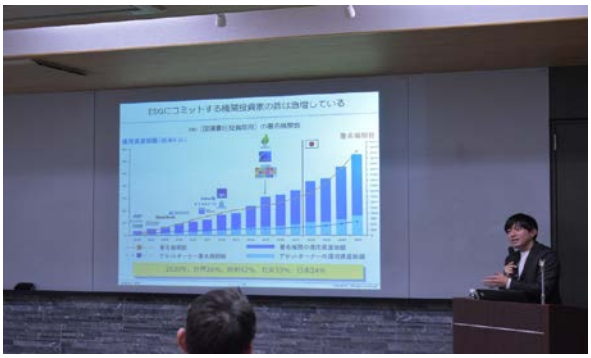
2024年3月に、地元の新津町自治会と災害協定を締結しました。災害発生時には、住民の一時避難所として社屋を開放。また、備蓄品の一部提供、地下水の提供、電力の提供も行います。
9月には住民と合同で災害訓練を行うなど、地域一帯での防災力を高めています。

海外からの社屋見学受入れがスタート

ZEB(Net Zero Energy Building)を達成したサステナブルオフィスの公開を引き続く積極的に行っています。今年度は新たに米国、中国からの見学者がありました。
サステナブルオフィスの評判が広がっている証拠でもありますので、今後ともZEBの波及に貢献して地球環境の改善に寄与出来るようにできるだけ多くの見学を受け入れていきます。

カーボンニュートラル講演会の実施

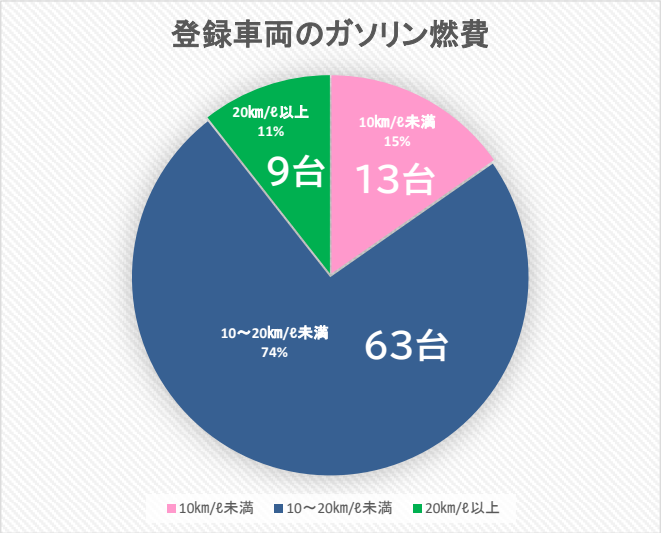
カーボンニュートラル講演会を初開催。(共催：浜松いわた信用金庫、後援：浜松市)
カーボンニュートラルを経済的視点から捉える第一人者でメディアでのコメンテーター出演や著書も多数の夫馬賢治氏をお招きした第一部と、第二部では浜松いわた信用金庫と日建設計と当社でクロストークを実施。身近な視点でカーボンニュートラルを考える機会として参加者からも好評の声を頂けました。



「浜松ジュニアビレッジ」試食会＆販売会への協力

地域の青少年育成・教育への協力は、地域活性化の要として引き続き活動をしています。今年度は新たに浜松ジュニアビレッジの活動へ協力しました。
農作物の栽培、収穫、商品化までを学ぶ活動として小学生・中学生が開発した「薬膳セルリカレー」の試食会＆販売会を当社で実施。青少年への機会提供と共に、社員と子供たちの交流の場にもなりました。

エコドライブ



・年間平均燃費： 14.2km/ℓ
（2023/10/1～2024/9/30）

登録車両85台のうち
・電気自動車 ・・・ 1台
・ハイブリッド車 ・・・ 26台

☆全体の32%が低燃費車

燃費20km/L以上の9台の内訳は7台がハイブリット車という結果でした。

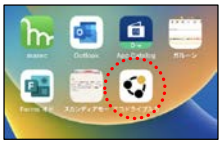
また、今後自動車買い替え予定のある社員に対し、低燃費車の検討を促す呼びかけを各部会議等で展開しております。

エコドライブアプリ開発＆運用を開始しました

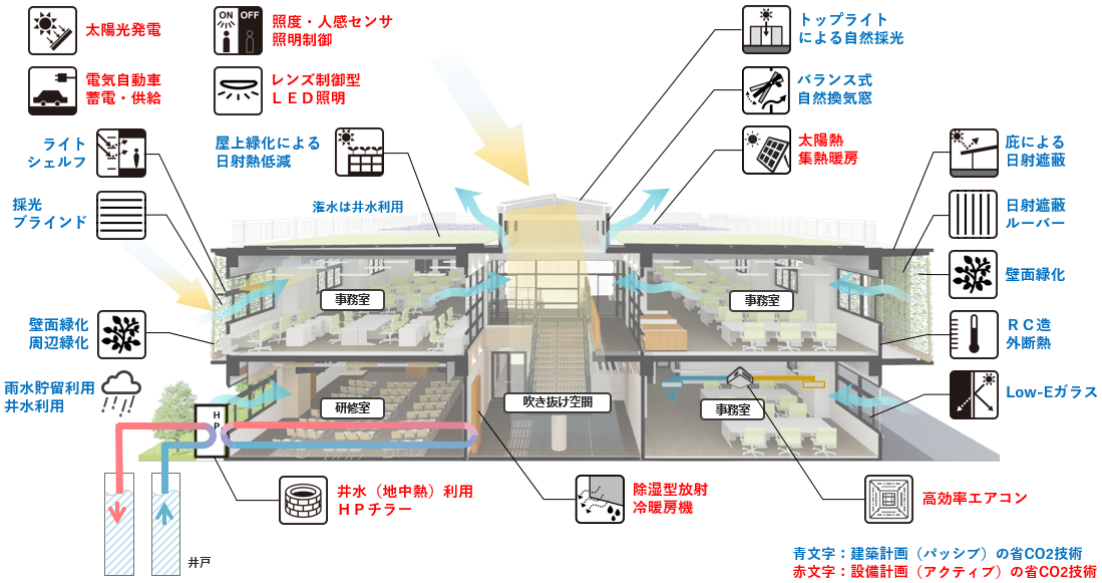
これまで使用していた浜松市主導のエコドライブの管理フォームが2024年3月いっぱいで終了となった為、新たに当社独自の管理システムを構築しました。

対象車両には給油のタイミングでスマートフォンから給油量、オドメーター等を入力してもらうことで、管理本部での一元管理が可能となりました。

さらに集まったデータを元に、さまざまな角度からの集計を出すことができるようになり、エコドライブ意識の向上に役立っています。



“人と地球環境にやさしい、エコで快適な環境配慮型の事務所“をテーマに改築した自社本社事務所に採用した省エネ技術



建物の環境性能

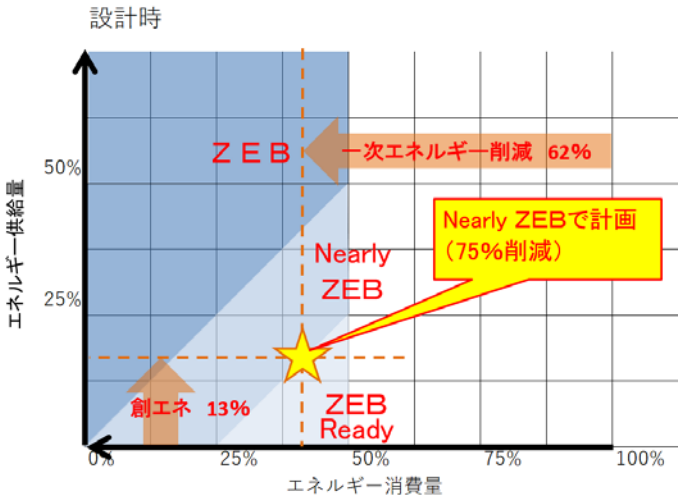
エネルギー削減：ZEB（Nearly　ZEB）

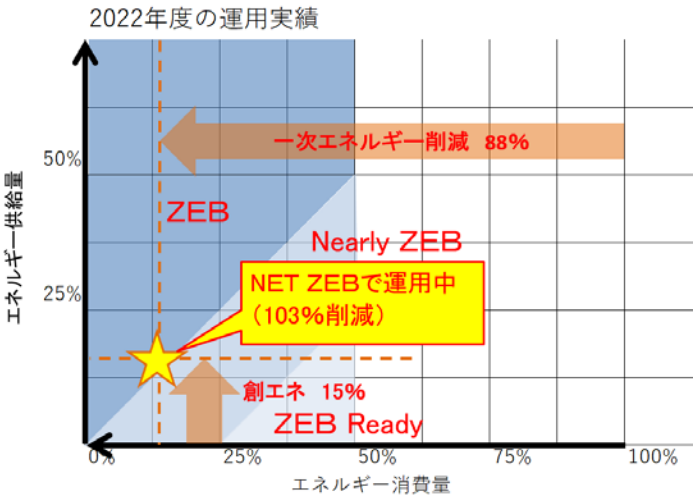
建築環境総合性能評価（第三者認証）
　CASBEE　Sランク

建築物省エネルギー性能表示
　BELS　★★★★★

国交省サステナブル建築物等先導事業
（省CO2先導型）採択

ZEBチャート

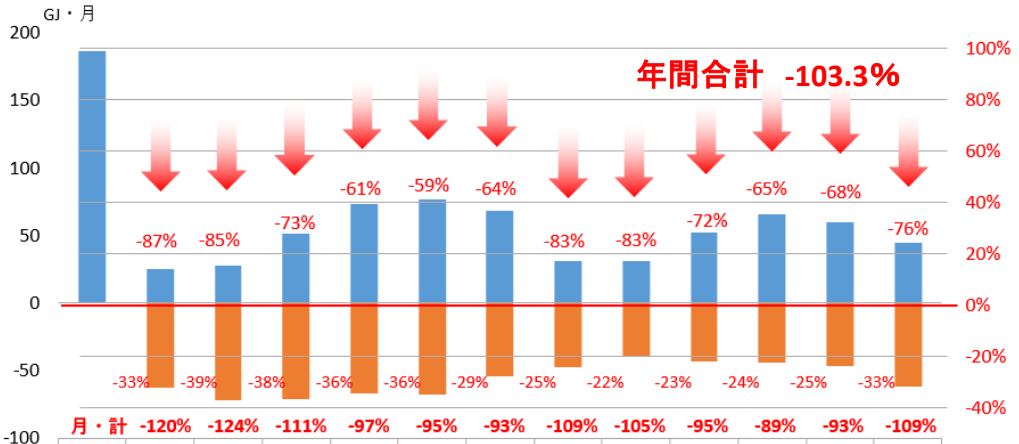




設計はNearlyZEBでしたが、実績はNet ZEBで運用しています。

月ごとの一次エネルギー消費量と削減率

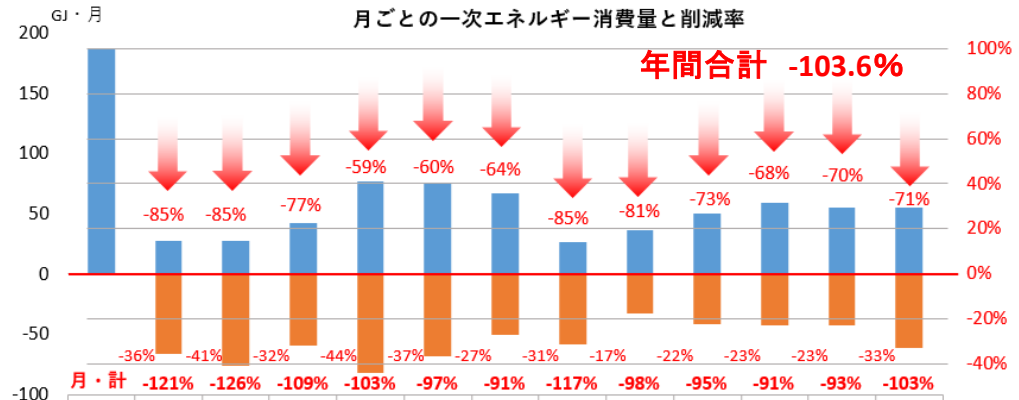
2022年度



GJ・月	基準値	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
消費エネルギー	186.43	24.95	27.68	51.07	72.95	76.43	67.86	30.87	31.02	52.32	65.14	59.66	44.83
太陽光発電		-62.42	-72.38	-70.95	-67.29	-67.97	-54.44	-47.47	-40.29	-43.16	-44.20	-46.70	-61.61

■太陽光発電 ■消費エネルギー

2023年度

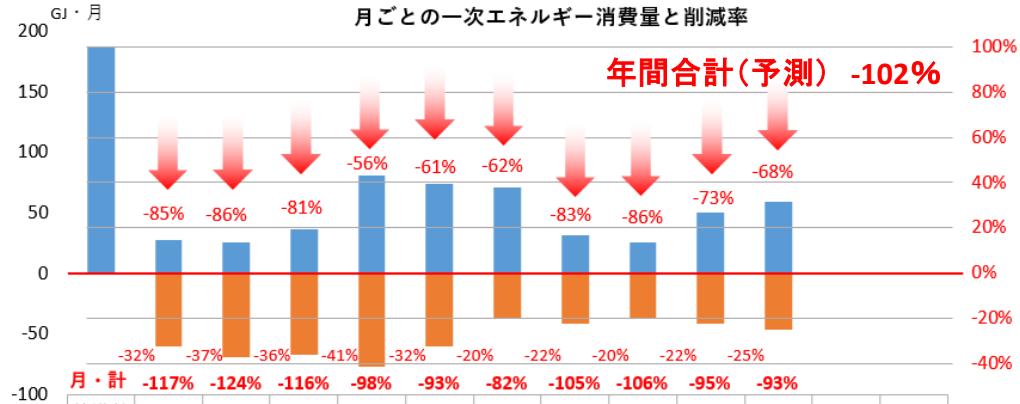


GJ・月	基準値	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
消費エネルギー	186.43	27.25	28.02	42.17	77.21	74.67	67.32	27.08	36.20	50.72	59.52	55.23	54.89
太陽光発電		-66.63	-75.89	-59.19	-82.46	-68.27	-50.67	-57.90	-32.32	-41.29	-42.90	-42.33	-61.16

■太陽光発電 ■消費エネルギー

2023年度は、前年よりもわずかながらエネルギーを削減しています。

2024年度



GJ・月	基準値	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
消費エネルギー	186.43	27.76	25.79	36.30	81.14	73.52	71.43	31.29	25.48	49.98	59.05		
太陽光発電		-60.07	-69.66	-66.96	-76.73	-60.27	-37.84	-41.09	-37.57	-41.29	-46.06		

■太陽光発電 ■消費エネルギー

2024年度は、暑い夏の影響で削減率が少なくなりましたが、『ZEB』は維持できる見込みです。

購入しているエネルギーは、全てグリーン電気としています。

普及活動

ZEBリーディングオーナー、ZEBプランナーとしてサステナブルな社会に向けてZEBの普及活動、営業活動を行い、企業、官公庁、教育関連などから多数の見学来場者がありました。
2022年　約1400名
2023年　約1000名
2024年　約550名

ZEB LEADING OWNER
ZEB2021L-00054-P

ZEB PLANNER
ZEB2021P-00006-PG

受賞

ZEB建築物、及びZEB建築物を利用した、
社会貢献や環境対策に関する受賞一覧

2025年3月6日
浜松市CSR活動表彰　マイスター認定4つ星

2025年1月30日
一般財団法人住宅・建築 SDGs 推進センター主催　国土交通省後援
第2回SDGs建築賞　国土交通大臣賞（中・小規模建築部門）

2025年1月29日
一般財団法人 省エネルギーセンター主催　経済産業省後援
2024年度 省エネ大賞 省エネ事例部門
資源エネルギー庁長官賞（ZEB・ZEH分野）

2025年1月17日
文部科学省主催
令和6年度「いーたいけんアワード（青少年の体験活動推進企業表彰）」
優秀賞

2024年5月10日
公益社団法人 空気調和・衛生工学会主催
第38回振興賞技術振興賞

2024年3月
一般社団法人静岡県建築士事務所協会主催
Shizuoka Design Award「建築賞2023」奨励賞

2023年7月
一般社団法人静岡県建設業協会主催
第39回　静岡県建設業協会建設もの創り大賞　優秀賞（A部門）特別賞

2023年2月
静岡県地球温暖化防止活動知事褒賞
地球温暖化防止普及・啓発部門

認定

令和5年度浜松市カーボンニュートラル達成事業者認定

8．環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

評価日　令和6年9月30日
遵守確認者　：　市川　浩透

適用対象	法規・条例・規制	条　項	適用内容または規制基準	実施事項	遵守状況	遵法評価結果
建設業建築・土木工事施工業	建設ﾘｻｲｸﾙ法	第5条、第9条、第10条第12条、第16条、第18条	指定物品のﾘｻｲｸﾙ化	現場で分別解体と再資源化 再資源化の実績の記録の作成・報告・保管	○	ﾏﾆｭﾌｪｽﾄで管理
	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	第6条の2	事業系一般廃棄物の適正処理	一般廃棄物収集許可業者への委託	○	許可業者へ委託
		第12条	産業廃棄物の処理または委託基準の遵守、多量排出事業者の削減活動の実施及び削減計画提出報告(産廃1000t又は特産廃50t以上)	計画書の提出報告	○	浜松市へ提出
		第12条の 2	特別管理産業廃棄物管理責任者の選任	選任	○	社長
		第12条の3	ﾏﾆｭﾌｪｽﾄの交付義務、記載義務	ﾏﾆｭﾌｪｽﾄの適正な作成	○	適正な作成
			ﾏﾆｭﾌｪｽﾄの保管・管理	5年間保管(B2・D・E票)	○	5年間保管
			ﾏﾆｭﾌｪｽﾄの期間内の返却の確認	90日以内又は180日以内返却の確認	○	期間以内の返却確認
			ﾏﾆｭﾌｪｽﾄ管理票交付状況報告書の提出	6月末日までに提出報告	○	５年間保管
		第12条の4	虚偽管理票交付の禁止	法令順守	○	虚偽無し
		第16条	廃棄物の投棄禁止	法令順守	○	適正処理
	廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令	第6条	産業廃棄物の収集、運搬、処分等の基準	水銀使用製品保管場の仕切り、表示、委託契約「水銀含有」	○	処理基準適合
	浜松市産業廃棄物の適正な処理に関する条例	第4条	事業者の責務	教育を行う	○	ｴｺｱｸｼｮﾝ活動を通して教育
		第8条	産業廃棄物管理責任者の選任	選任	○	社長
		第10条	処理委託先の実施確認と記録	確認の実施、記録の保管	○	年度始めに確認
		第11条	産業廃棄物の不適正な処理に関わる措置等	是正措置及び報告		該当なし
	建設業法	第3条1項	建設現場の環境配慮対応	環境問題の未然防止	○	建設業許可済み
	建築基準法	第6条の2	建築物の敷地、構造、設備、及び用途に関する基準の遵守	法令順守(防火・準防火地域内の適用除外)	○	法令順守
	騒音規制法	第5条 浜松市告示第334号	規制基準の遵守	特定工場棟の規制基準の遵守		該当なし
		第14条	特定建設作業の届出	特定建設作業を行う建設工事の届出	○	都度届出
	振動規制法	第5条 浜松市告示第335号	規制基準の遵守	特定工場棟の規制基準の遵守		対象外
		第14条	特定建設作業の届出	特定建設作業を行う建設工事	○	都度届出
	悪臭防止法	第7条 浜松市告示第465号	規制地域内で、悪臭指数基準を遵守	悪臭対象物質確認	○	規制基準の遵守
	大気汚染防止法	第18条　14項・15項	特定粉じん排出作業等に係る規制基準の遵守	石綿を含む解体工事	○	発生の都度対応遵守
	石綿障害予防規則	第5条	「石綿等使用建築物等」の飛散性及び保温材等の解体、封じ込め・囲い込みを含む除去作業	処理計画書の届出 作業主任者の選任	○	発生の都度対応遵守
	下水道法	第12条	公共下水道への排出	規制基準の遵守	○	規制基準の遵守
	オフロード法	第4条	事業者及び使用者の責務	排出ガスの抑制	○	適合ﾘｰｽ重機使用
		第17条	基準に適合した特定特殊自動車の使用	基準適合表示の施されたものを使用	○	適合ﾘｰｽ重機使用
	フロン排出抑制法	第16条	第一種特定製品の管理者が講ずべき措置	管理者による簡易点検	○	点検記録の整備（19台）
		第42条	特定解体工事元請け業者の確認及び説明	業務用冷凍空調機の有無確認と説明		該当なし
事業者全般	地球温暖化対策の推進に関する法律	第5条	事業者の責務	温室効果ガス排出抑制、自治体施策への協力	○	ｴｺｱｸｼｮﾝ活動を通して協力
	循環型社会形成推進基本法	第11条	事業者の責務	循環的な利用(再使用、再生利用、熱回収)	○	ﾘｻｲｸﾙ法の遵守
	グリーン購入法	第5条	事業者及び国民の責務	製品･ｻｰﾋﾞｽ当・購入にあたり、できる限り環境物品等を選択	○	ｴｺﾏｰｸ商品を選択

■当社に適用される環境関連法規の遵守状況及び違反・訴訟等の有無

・上記の通り環境関連法規及び条例を事業所、現場ともに遵守しており、違反はありません。
　また、関係当局からの違反等の指摘、利害関係者からの訴訟などもも過去３年間ありません。

9．代表者による全体評価と見直しの結果

①代表者による確認

項目	確認	必要に応じてコメント
1　エコアクション２１文書	☑	最新版確認
2　環境経営目標および目標達成状況	☑	達成率100％　11項目中11（評価：〇以上の取組項目）
3　環境経営計画および取り組み実施状況	☑	今期の結果を踏まえ、次年度の計画を策定
4　環境関連法規および遵守状況	☑	関連法規はすべて遵守
5　外部コミュニケーション・対応記録	☑	事務局を通して対応できている
6　その他	□	

②代表者による評価

項目	変更必要性		有の場合の指示項目など
	有	無	
1　環境経営方針	□	☑	
2　環境経営目標・計画	□	☑	
3　環境経営計画・取り組み項目	□	☑	
4　実施体制	☑	□	主管組織を経営基幹本部とする
5　その他環境経営システム要素	□	☑	
6　その他	□	☑	

③代表者による総評

弊社にとって13年目となる「エコアクション21」活動でした。
環境目標は概ね達成出来ました。中でも目標を大きくクリアした項目は「二酸化炭素総排出量」「社員のガソリン使用料」「現場の使用電力・使用化石燃料」「事務所の水使用量」「建築工事の廃棄物分別」「住宅工事の太陽光パネル設置提案」で、その要因はP11に記載した通りであります。
次期に向けてのカイゼンですが、まず環境に関する主管組織を経営基幹本部に変更して、より精緻な取り組みと管理をしていきます。
また温室効果ガス排出をゼロにすることは出来ないので、カーボンクレジットを購入することによる排出量の相殺（カーボンオフセット）に取り組み、Scope1、Scope２における企業責任を果たしていきたいと思います。
今後は仕入れ先への環境経営取組みを支援したり、ZEBやZEHの施工実績を増やしたりすることで、Scope３における温室効果ガス削減にも貢献していきたいと思います。

令和6年12月1日
常盤工業株式会社
代表取締役 市川 浩透